

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1432), 課コード (1604), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Summary table for post-evaluation with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など).

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1433), 課コード (1604), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria and a summary table at the bottom.

3. 事後評価 - Post-evaluation section for future improvements.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1434), 課コード (1604), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 (費用).

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 評価コメント, 改善案及び展開方向.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1435), 課コード (1604), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and budget details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Summary table for post-evaluation with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 改善案及び展開方向.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1437), 課コード (1604), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for fiscal years 2020-2024.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for (1) 事業が今必要である理由・背景は?, (2) 市が実施する必要性はあるか?, (3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか?, (4) 環境に配慮して事業を進めているか?, (5) 目標設定は適切か?, (6) 事業費削減の工夫をしているか?, (7) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か?

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	1438	課コード	1604	会計種別	一般会計	予算の種類	□政策	■経常	□なし
-------	------	------	------	------	------	-------	-----	-----	-----

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	企画展の実施	実施計画への位置づけ	○有 ●無	②部課名	生涯学習部・鳥の博物館			
	③事業主体	●市 ○その他 ()		④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐	■全市				
	⑤事業期間	平成3年度 ~			⑥担当職員数	1人 (換算人数)	0.2人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初) 5,705千円 (うち人件費 1,780千円)	(変更後) 5,408千円 (うち人件費 1,780千円)			
	⑧施策の位置づけ	施策コード	51103	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無	部門別計画への位置づけ	(計画名)	社会教育推進計画
(2) 目的	施策目的・展開方向	学習する場の充実を図るため、公民館や図書館、鳥の博物館、白樺文庫などの施設の充実や、学習の拠点施設の整備を計画的に進めるとともに、学校施設など既存施設の有効活用を推進し、身近な場所で学習ができるようにします。また、湖北地区図書館の整備については、湖北地区に立地し、老朽化への対応が急が自然環境の保全に関心を持ち、理解を深めることができるように、鳥や自然環境に関する季節性や話題性に即したテーマを選び、年3回程度企画展を実施する。合わせて博物館ボランティアや博物館友の会会員の活動成果の発表機会として利用できるように、コーディネートする。			事業目的	鳥を中心として、地域の自然と生き物について興味を持ち、理解を深め、愛着を感じることができるような企画展を実施する。				
(3) 事業内容	内容				当該年度執行計画	年間を通して2回または3回の企画展を開催する。令和2年度に予定していた「鳥のオリンピック」を「鳥のチャンピオン」と改題し、鳥類の持つ様々な能力や、それを可能にする体の仕組みを紹介する企画展を実施する。				
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				当該年度活動結果指標	来館者数	単位	人	想定値 33,000 実績値 25,638	
当該年度	子どもから大人まで幅広い年齢層の市民に、話題性、速報性のある企画展を実施し、鳥や様々な生物を通して環境を考える機会を提供する。				指標種類	直接	来館者数	人	32,580 (5) 現況値 (6) 目標値 33,000	
令和4年度	子どもから大人まで幅広い年齢層の市民に、話題性、速報性のある企画展を実施し、鳥や様々な生物を通して環境を考える機会を提供する。				指標種類	直接	来館者数	人	33,500	
令和5年度	子どもから大人まで幅広い年齢層の市民に、話題性、速報性のある企画展を実施し、鳥や様々な生物をとらえて環境を考える機会を提供する。				指標種類	直接	来館者数	人	34,000	
(7) 事業実施上の課題と対応					代替案検討	○有 ●無				
(8) 施行事項	実施内容 費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		(経常)	(経常)		(経常)	(経常)		(経常)	(経常)	
		会計年度任用職員(学芸員)報酬	1,400	会計年度任用職員(学芸員)報酬	2,200	2,183	会計年度任用職員(学芸員)報酬	2,200	会計年度任用職員(学芸員)報酬	2,200
		国庫支出金 補助率 0%	0	国庫支出金 補助率 0%	0	0	国庫支出金 補助率 0%	0	国庫支出金 補助率 0%	0
県支出金 補助率 0%	0	県支出金 補助率 0%	0	0	県支出金 補助率 0%	0	県支出金 補助率 0%	0		
起債 充当率 0%	0	起債 充当率 0%	0	0	起債 充当率 0%	0	起債 充当率 0%	0		
一般財源	2,416	一般財源	3,214	3,305	一般財源	3,213	一般財源	3,213		
その他の財源	0	その他の財源	414	0	その他の財源	414	その他の財源	414		
換算人数(人)	0.1	換算人数(人)	0.2	0.2	換算人数(人)	0.2	換算人数(人)	0.2		
正職員人件費	870	正職員人件費	1,780	1,780	正職員人件費	1,780	正職員人件費	1,780		
嘱託職員報酬額	0	嘱託職員報酬額	0	0	嘱託職員報酬額	0	嘱託職員報酬額	0		
臨時職員賃金額	0	臨時職員賃金額	0	0	臨時職員賃金額	0	臨時職員賃金額	0		
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	3,286	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	5,408	5,085	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	5,407	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	5,407		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	0.09千円/人	(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	0.16千円/人	0.2	(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)			

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	博物館が持っている学習資源を最大限に活用し、市民に情報提供する必要がある。「鳥の科学」、「地域の自然」、「人と鳥とのかわり」という三つのテーマに沿って魅力ある企画展を実施することで、展示に変化を持たせて何度も足を運んでもらえるような博物館を目指す。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった				○要 ●不要
	<p>＜想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因＞ 東京オリンピックにちなんだ展示や鳥の博物館の30年の標本収集の成果をまとめた企画展を開催し、来館者に見てもらえた。</p>				<p>＜市実施の具体的な内容・必要性の理由＞ ●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ■②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ■⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給が確保された □⑦その他</p>				○要 ●不要
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	<p>○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他</p> <p>●②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる ■市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他</p>				<p>＜その他の内容＞</p>				○要 ●不要
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要
	<p>○①事業計画時に市民の参画有り ●②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他</p>		<p>鳥の博物館友の会と共催の企画展の実施、市民スタッフによる企画展の展示ガイドを実施する。</p>		<p>鳥の博物館友の会との共催の企画展を実施した他、市民の協力を得て収集した剥製標本を多く展示した。館内ガイドは実施しなかった。</p>		<p>○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ●③当初の期待以下</p> <p>＜期待した以上となった理由/期待以下であった原因＞ 新型コロナウイルスの感染防止対策のため、展示交流事業を行うことができなかった。</p>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要
	<p>■①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している □⑤その他</p>		<p>鳥や生態系の仕組みや魅力を伝える企画展を実施する。</p>		<p>30年の標本収集の成果をまとめ、日本の鳥の魅力を伝える企画展を実施した。</p>		<p>●①想定どおり ○②想定どおりでなかった</p> <p>＜想定どおりでなかった原因＞</p>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(人)	目標値(b)(人)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率(%)	○①目標値達成 ●②目標値未達成		○要 ●不要
	32,580	33,000	<p>□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である</p>		実績値(f)(人)	77.69	<p>＜目標を達成した理由/未達成となった原因＞ 新型コロナウイルス感染症の影響で入館者数が減少したため。</p>		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減	事業費削減額(d)(千円)	実施予定の対策		実施状況	対事業費(%)	○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ●不要
	5,408	△2,122	<p>□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託</p>		実績値(g)(千円)	94.03	<p>＜想定どおり削減できなかった原因＞</p>		
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ●③目標値以下		○要 ●不要
	610.21	人	<p>●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費</p>		実績値(h)	82.63	<p>＜目標値以上となった理由/目標値以下であった原因＞ 新型コロナウイルス感染症の影響で入館者数が減少したため、費用対効果が低下した。</p>		

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)					改善案及び展開方向				
評価	事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。事業コード703「鳥の博物館による環境学習の推進」に結合し推進				令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。				

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	1439	課コード	1604	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	ミュージアムショップの充実		実施計画への位置づけ	○有 ○無		②部課名	生涯学習部・鳥の博物館		
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市					
	⑤事業期間	平成16年度 ~			⑥担当職員数	2人 (換算人数)		0.15人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	7,941千円		当該(開始)年度	当 初	9,704千円 (うち人件費 1,335千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策コード	11203	重点プロジェクトへの位置づけ	重点2	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)	生涯学習推進計画	
(2) 目的	施策目的・展開方向	多くの人が手賀沼の魅力に気づき、その価値を認識してもらえるように、ジャパンバードフェスティバルやEnjoy手賀沼!、手賀沼花火大会などの手賀沼にかかわるイベントや手賀沼周辺の自然観察会、農業体験などを引き続き実施します。また、広報やウェブサイト、SNS、パンフレットなどの活用やパブリック博物館を見学した思い出を残すことができるように、鳥の博物館らしい魅力あるグッズを販売する。来館者の意見や要望を反映し、安全で楽しく遊べる教育的なものや来館記念としての付加価値の高いオリジナルなものをより安価に提供する。			事業目的	来館者に来館記念として学習教材、記念品などのミュージアムグッズを購入していただくことで博物館のメッセージを持ち帰ってもらい、博物館のPRとリピーターの確保に繋げる。					
(3) 事業内容	内 容				当該年度執行計画	鳥の博物館としてのオリジナルグッズを制作する他、グッズ商品の販売工夫を行い、売り上げを伸ばす。					
(4) 達成目標(期待する成果)	当該年度	達成目標(期待する成果)			指標種類	指 標	単 位	千 円	想定値	3,500	
	令和4年度	安全で楽しく鳥の博物館ならではの教育的グッズを販売し、より多くの来館者に満足してもらう。			直接	売上高	円		実績値	4,112	
	令和5年度	安全で楽しく鳥の博物館ならではの教育的グッズを販売し、より多くの来館者に満足してもらう。			直接	売上高	円		(5) 現況値	3,405	
	令和6年度	安全で楽しく鳥の博物館ならではの教育的グッズを販売し、より多くの来館者に満足してもらう。			直接	売上高	円		(6) 目標値	3,600	
(7) 事業実施上の課題と対応	正職員が減員された中で、新たなグッズを検討していくことが厳しい状況である。ミュージアムショップは来館者にとって楽しみな場所となっている中、グッズの新商品検討やグッズの売値を考えた商品開発が出来ない状況となっている。ミュージアムショップの委託など検討していくことも必要である。				代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費 用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度			
		政策	内 容	金額(千円)	政策	内 容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内 容	金額(千円)
		(経常)	会計年度任用職員報酬(受付等)	4,618	(経常)	会計年度任用職員報酬	4,841	4,840	(経常)	会計年度任用職員報酬	4,900
			会計年度任用職員社会保険料(受付等)	439		会計年度任用職員費用弁償	296	240		会計年度任用職員費用弁償	296
			会計年度任用職員費用弁償(受付等)	274		消耗品	2,360	2,357		消耗品	2,500
	消耗品	2,360		手数料	12	5		手数料	12		
	手数料	12		委託料	532	532		委託料	600		
	委託料	1,532									
	予算(決算)額	合 計	9,235	合 計	8,041	7,974	合 計	8,308	合 計	8,582	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	
	一般財源		5,331		5,137	7,974		5,404		5,582	
その他の財源	□特会 □受益 □基金 ■その他	3,904	□特会 □受益 □基金 ■その他	2,904	0	□特会 □受益 □基金 ■その他	2,904	□特会 □受益 □基金 ■その他	3,000		
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.1		0.15		0.15		0.1			
	正職員人件費	870		1,335		1,335		890			
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0			
	臨時職員賃金額	0		0		0		0			
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	10,105		9,376		9,309		9,198		9,472		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	2.55千円/千円		2.68千円/千円		2.26						

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
	博物館は教育施設であると同時に、楽しい体験ができなければならない。ミュージアムショップで、鳥の博物館ならではのオリジナルグッズを販売することで、思い出のグッズとして、また、再度来館し、手賀沼の環境や自然について学んでもらうことが必要である。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> グッズの見直し、飽きの来ない商品の検討を行うことにより、来館者の増加、グッズを通じて関心を持ってもらう。				○要 ●不要
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ■②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 企画展や博物館活動に合わせたグッズを仕入れることにより、来館の記念となるような商品を展開することができる。		○要 ●不要
	●②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる ■市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>		<その他の内容>		<その他の内容>		○要 ●不要
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 来館者からの意見等を参考にグッズを検討している。				時代に合わせた商品開発の検討を行った。		○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している ■③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している □⑤その他 <その他の内容>		手賀沼に生息している生きものを紹介することも含めグッズの検討をしている。		手賀沼に生息している生き物に関連するグッズの検討を行った		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(円)	目標値(b)(円)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		●①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ●不要
	3,405	3,500	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(円)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 来館の記念となるような商品や売れ筋商品の洗い出しを行い、売り上げが伸びた。		
					4,112	117.49			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		事業費の削減対策について		○要 ●不要
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	9,376	729	<削減の内容>		9,309	99.29	<超過理由等>		
	事業費削減率(%)								
	7.21								
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		●①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ●不要
	37.33	単 位	費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 来館の記念となるような商品や売れ筋商品の洗い出しを行い売り上げが伸びた。		
		円	10万円		44.17	118.32			

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					
	事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。事業コード703「鳥の博物館による環境学習の推進」に結合して推進				令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。					

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1440), 課コード (1604), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main body table (1. 事業の概要 (PLAN)) containing project details, objectives, content, and a detailed budget breakdown for fiscal years 2022-2025.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks. Includes sections for necessity, participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns for current status, evaluation comments, and improvement directions.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1441), 課コード (1604), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討

3. 事後評価 - Post-evaluation section header

Table for post-evaluation with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など)

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1442), 課コード (1604), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for Section 1: 事業の概要 (PLAN). Includes sub-sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for fiscal years 2020-2024.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Contains criteria for necessity, participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善案及び展開方向. Includes comments on project progress and future directions.

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	1443	課コード	1604	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)															
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	鳥類標本・資料の収集		実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	生涯学習部・鳥の博物館						
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市									
	⑤事業期間	～			⑥担当職員数	1人 (換算人数)		0.01人							
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	1,614千円 (うち人件費 89千円)		(変更後)	1,678千円 (うち人件費 89千円)					
	⑧施策の位置づけ	施策コード	51201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	●有 ○無		部門別計画への位置づけ	(計画名) 社会教育推進計画					
(2) 目的	施策目的・展開方向	市民の学習活動を活発にするため、市が行う生涯学習関連事業の体系化や事業内容の充実、情報の共有化などを進めて、生涯学習振興に関する行政施策を総合的に推進します。また、学習に関する情報提供、相談体制の充実を図るとともに、他の自治体や市民団体、大学、研究機関、企業などとの連携を強化するなど、市内唯一の鳥類専門の単科博物館として、日本産鳥類全種の剥製標本および骨格標本のコレクションを完成させ、適切に維持管理する。また、だれでも利用できるようにデータベースを構築し公開する。			事業目的	博物館事業の基盤となる鳥類標本を主とした資料の収集と記録、また永続的に保存できるような管理と効果的な利用の推進。									
(3) 事業内容	内容				当該年度執行計画	○資料受入・登録・管理：通年 随時 ○標本作製・登録：通年 随時									
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標	単位	点	想定値	3,700	実績値	3,684			
当該年度	未所蔵の分類群(科・種)の鳥類死鳥資料を収集し、剥製や骨格として標本化し、多くの市民の利用に供する。				直接	収集標本数	点		3,551			3,700			
令和4年度	未所蔵の分類群(科・種)の鳥類死鳥資料を収集し、剥製や骨格として標本化し、多くの市民の利用に供する。				直接	収集標本数	点					3,750			
令和5年度	未所蔵の分類群(科・種)の鳥類死鳥資料を収集し、剥製や骨格として標本化し、多くの市民の利用に供する。				直接	収集標本数	点					3,800			
(7) 事業実施上の課題と対応	収集し冷凍保存した資料を着実に標本化する体制づくりが課題で、市民スタッフの教育などに取り組んでいる。				代替案検討	○有 ●無									
(8) 施行事項	実施内容 費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度							
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
		(経常)			(経常)				(経常)				(経常)		
		消耗品費		154	消耗品費		154	90	消耗品費		154	消耗品費		154	
		通信運搬費		50	通信運搬費		50	50	通信運搬費		50	通信運搬費		50	
手数料(CO2ボンベ充填)		21	手数料(CO2ボンベ充填)		21	21	手数料(CO2ボンベ充填)		22	手数料(CO2ボンベ充填)		22			
標本作製委託料		1,373	標本作製委託料		1,364	1,364	標本作製委託料		1,364	標本作製委託料		1,364			
備品購入費		64													
予算(決算)額	合計		1,662	合計		1,589	1,525	合計		1,590	合計		1,590		
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0		
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0		
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0		
	一般財源			1,662			1,589	1,525			1,590		1,590		
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他		0	□特会 □受益 □基金 □その他		0	0	□特会 □受益 □基金 □その他		0	□特会 □受益 □基金 □その他		0		
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.05		0.01	0.01		0.01				0.01			
	正職員人件費		435		89	89		89				89			
	嘱託職員報酬額		0		0	0		0				0			
	臨時職員賃金額		0		0	0		0				0			
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)			2,097		1,678	1,614		1,679				1,679			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)			0.6千円/点		0.45千円/点	0.44									

2. 事業の評価 (DO+CHECK)											
評価項目	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討		
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	博物館の使命の一つに資料の収集と永続的な保管があげられる。全国で初めての鳥類専門の博物館である当館は、鳥類および関連資料の収集に努め、市民の研究および生涯学習の教材として充実をはかることが求められている。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった				○要 ●不要		
	<想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 時代とともに変化する鳥類の分布情報や形態の変化の記録等を実物として次世代に引き継ぐため、鳥類標本を収集することは引き続き必要であるため。				○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ■②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>				<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 専門知識を持つ職員が標本を収集・管理することで、コレクションの充実と適切な管理を行うことが可能になるため。		○要 ●不要
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ●②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる ■市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他				□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ■②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>						○要 ●不要
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容				
	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)		市民から協力を得て標本資料を収集している。		市民からの標本資料の寄贈		○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>			○要 ●不要	
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮				
	■①自然環境を生かしている □②生き物と共存している ■③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している □⑤その他 <その他の内容>		多様な鳥類標本を教育普及事業に活用することで、市民の地域の生物や生態系を学ぶ機会を提供する。		事故等によって死亡した鳥類の収集を行っており、生体の収集は行っていない。		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>			○要 ●不要	
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(点)	目標値(b)(点)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率(%)		●①目標値達成 ○②目標値未達成			
	3,551	3,700	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(点)	99.57		<目標を達成した理由/未達成となった原因> 委託及び館内での標本作製を効率よく進められたため。			
					3,684						
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過				
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)	96.19		●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>			
	1,678	419	<削減の内容>		1,614	<超過理由等>					
事業費削減率(%)		19.98									
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下				
	220.5		●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	103.51		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>			

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。事業コード704「鳥の博物館の管理運営」に結合して推進				改善策及び展開方向					
					令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。					

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1444), 課コード (1604), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status, evaluation comments, and improvement directions.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1886), 課コード (1604), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (□政策 □経常 ■なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.